

ロシア関連メモ NO.35

BRICs サミットの意義

1. BRICs サミットの狙い

ロシア、中国、インド、ブラジルの4カ国は、4月15日、ブラジルのブラジリアにおいて第2回首脳会議（BRICs サミット）を開催した。

この BRICs サミットは 2009 年 6 月 16 日にロシアのエカテリンブルグで開催された第 1 回会合に続いて開催されたもので、世界経済において大きなシェアを持つに至った BRICs4 カ国が意思疎通を密接にし、共通の立場を構築することを通じて世界経済における影響力を強めることを目指すとともに、相互間の多方面における協力関係の強化を目指すものである。

2. 共同宣言の内容

サミットで採択された共同宣言の主な内容は、以下のとおり。

【図表 1: 第 2 回 BRICs サミット共同宣言の内容】

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>① G20 を中心としたグローバル・ガバナンス改革及び国連における BRICs 諸国の発言権の拡大を求めること</li><li>② IMF、世銀の議決権の見直しによる BRICs 諸国の発言権拡大を求めること（世銀の議決権の見直しは春の総会、IMF は 2010 年 11 月の G20 サミットまでに行われることを求める）。</li><li>③ BRICs 諸国間の貿易決済に加盟国通貨を使用するフィージビリティ・スタディーを開始すること</li><li>④ 金融安定化理事会（FSB）等国際基準設定機関と協力して金融市場規制・監督の促進を図るとともに、国際金融規制システムの改革を求めること。</li><li>⑤ あらゆる保護主義に反対し、WTO ドーハ・ラウンドを促進すること。ロシアの WTO 加盟を支持すること</li><li>⑥ ミレニアム開発目標の達成にむけて努力すること</li><li>⑦ BRICs 諸国間で共通の農業情報システムを構築すること</li><li>⑧ 貧困撲滅に努力すること</li><li>⑨ 再生可能エネルギー、バイオ燃料を用いてエネルギー・ミックスの多様化を進めること</li><li>⑩ 気候変動問題に関し、COP16 の成功にコミットすること</li><li>⑪ テロとの闘いを強化すること</li><li>⑫ 国連「文明の同盟」を支持し、文化的対話を促進すること</li></ol> |
|--|

### 3. サミットの意義

今回の共同宣言は、第1回サミットの共同宣言よりかなり長大なものとなり、内容も細かくなっているものの、大項目には変化がない。

【図表 2: 第1回 BRICs サミット共同宣言の主要項目】

- ① G20 を中心として世界経済・金融問題の解決に協力
- ② 国際金融機関の改革と新興国及び発展途上国の発言権の拡大
- ③ 自由貿易と投資環境の改善
- ④ 最貧国への援助促進
- ⑤ 持続可能な開発
- ⑥ エネルギー政策における協力

今回の BRICs サミットについては、世界金融危機が最悪期を脱するにつれて4国の立場の違いが徐々に露呈しており、それぞれがサミットに期待することの違いも出ていることからサミットの求心力が低下しているとの見方が支配的である。

特に世界経済危機からの回復過程で、中国経済が最も高いパフォーマンスを示した（2009年実質 GDP 成長率 8.7%）のに対し、ロシアの2009年の GDP 実質成長率は-7.9%と大きく落ち込むなど、4国のなかで中国の力が突出して他の国との差が際立ってきたことがある。

個々の問題についても、例えば国際貿易の問題に関し、ブラジルは農産物輸出国として農業の障壁除去を求めているがインドはそれを望んでいないし、基軸通貨の問題についても、ドル離れを主張するロシアに対し、最大の米国国債保有国である中国がドルの減価を望んでいないなど、BRICs4国の立場の隔たりが大きくなっている。

今回の共同宣言の中で目立つ内容としては、IMF、世銀の議決権の見直しについて期限を区切ったこと、及び4国間の貿易をドルベースではなく自国通貨ベースに変更することの検討を開始すること程度であり、内容の乏しさを隠すためか共同宣言に第1回サミット以来行われてきた協力等の内容までが列挙されている。

【図表 3: 協力実績】

- (a) 第1回農相及び農地開発相会合
- (b) 蔵相・中央銀行総裁会合
- (c) 防衛問題担当ハイレベル会合
- (d) 2009年の BRICs 諸国の高等法院間の合意に基づく、2010年5月ブラジルにおける BRICs 諸国の治安判事及び裁判官の交換プログラム
- (e) 開発銀行の第1回会合

- (f) 国家統計局長官の第1回会合
- (g) 競合政策当局の会議
- (h) 共同組合の第1回会合
- (i) 第1回ビジネスフォーラム
- (j) シンクタンク会議

BRICs からの脱落がささやかれるロシアのメドベージェフ大統領は、今回のサミットに先立つ4月14日に公表した文書「BRICs 諸国：共通の目標－共通の行動」において、BRICs のさらなる結びつきの強化と、結束して国際的秩序形成に参画する必要性を強調した。

サミット後、メドベージェフ大統領は「これまでの多くの観測筋は、BRICs サミットが実行力のあるグループになるかどうか疑問を呈してきたが、今やそうした疑いは払拭され、協力のシステムが生まれつつある。」と述べた。共同宣言の内容が細かくなったことは4国の協力が具体的レベルに進んできたことの証左であるとするものである。

今回のサミットでは、4カ国の開発銀行の間で協力関係の強化に関する覚書が締結され、中国とブラジルが5年間の通商強化戦略的計画に調印するなど、個々の経済協力プロジェクトに関する進展が見られた模様である。

第3回 BRICs サミットは来年中国で開催されることが決定したが、共通の立場を構築することを通じて世界経済における影響力を強めるという位置づけから実利を求めるものに変質していくことも考えられよう。

以上

#### 【共同宣言仮訳】

我々、ブラジル、ロシア、インド、中国のリーダーは、2010年4月15日、ブラジリアで会合を行い、国際的な諸課題について議論し、BRICs 内の協力・協調の促進について確固たる前進を見た。

我々は以下の点について合意した。

#### 共通のビジョンとグローバル・ガバナンス

1. 我々は、世界において大規模かつ急速な変化が進行しており、関連するすべての領域においてグローバル・ガバナンスの適切な改革が必要であるとの認識を共有する。
2. 我々は、国際法と平等、相互尊重、すべての国家の協調的行動と集団的意思決定にもとづく多極的、で公正かつ民主的な国際秩序への支持を強調する。
3. 我々は、G20 が、前例の無い水準の協調的行動を通じて、危機対策において重要な役割を果

たしたことを強調する。我々は、G20の国際経済協調及び加盟国間協力の主要フォーラムとしての認知度が高まったことを歓迎する。従来と比較し、G20は幅広く、より包括的、民主的で実効性を持つフォーラムとなった。我々はすべての加盟国に対し3回のG20サミットで決定された事項を共に実行するためにさらに努力することを求める。

我々は、G20がポスト・クライシス期における先見性、一貫性のある戦略を策定する必要性に賛同する。

4. 我々は国際的課題及び脅威に対応するための国連が中心的役割を果たす多国間外交に対する強いコミットメントを表明する。この点に関し、我々は国連が今日の国際的課題にさらに効果的に対応できるよう、国連をより効果的、効率的、民主的にする包括的改革の必要性を再確認する。我々は国際問題におけるインドとブラジルの地位の重要性を再度表明するとともに、2国が国連でより大きな役割を果たそうとする希望を理解する。
5. 我々は、BRICs諸国の対話と協力の深化及び拡大は、新興国経済と発展途上国の共通利益の保護のみならず、持続的平和と共通の繁栄を保障する調和の取れた世界の建設につながることを確信する。我々はBRICs諸国間の対話と協力促進を着実、積極的、实际的、オープンかつ透明性を持って進めることについて合意した。

#### 国際経済・金融問題

6. 2009年6月にエカテリングルグで1回目のBRICsサミットを開催して以来、世界経済は回復してきた。我々は、新興国が非常に重要な役割を果たした成長の再開を歓迎する。しかし、世界経済の回復の基盤は確固たるものではなく、不確実性が残っていることを認識する。我々はすべての国々がマクロ経済領域における協力を強化することにより、世界経済の回復と力強く持続的でバランスの取れた成長を確実なものとすることを求める。我々は自国経済を回復させ、自国及び世界の発展を促進するために積極的な努力を継続する決意を改めて表明する。
7. 我々は、主要準備通貨の相対的安定性及び力強く、長期的でバランスの取れた経済成長の持続性を達成するための持続的な財政政策の重要性を強調する。
8. 我々は新興経済及び発展途上国が、経済成長と繁栄のエンジンとしてさらに大きな、かつ積極的な役割を果たすとともに、他の国々と協力し、世界の経済発展のインバランスを是正し、社会的一体性を促進する潜在力を持っていることを確信する。
9. G20諸国は、BRICsの大きな貢献によりIMFの大幅増資を行った。我々は多国間開発銀行からのより堅牢、柔軟かつ機動的な顧客主導の経済開発支援に加え、公正な負担の分担の原則のもとに国際復興開発銀行と国際金融公社の増資を支持する。

10. 明るい兆候は見られるが、まだ多くのことを解決しなくてはならない。我々は、将来世界経済が危機に陥ることがないように、また、危機からの回復力を強化するよう、国際金融システムをより安定的なものに改革することが必要であり、そして、より安定的、予測可能かつ多様化した国際通貨システムを必要としていることを確信する。
11. 我々は現在進められており、大きく遅れているブレトンウッズ機関の改革について、野心的な結論を見出すよう努力する。IMF と世銀は、正当性の欠如に迅速に対処しなくてはならない。これらの機関のガバナンス構造を改革するためには、何よりも先ず、振興市場経済及び発展途上国が、世界経済において占める重要性に見合うように意思決定に関与することができるよう投票権を大きく変更することが必要である。我々は、世銀の投票権の見直しが次の春の総会で完了すること及び IMF の定数見直しが今年 11 月の G20 首脳会議までに完了することを求めるとともに、IMF と世銀総裁について国籍によらないオープンで能力ベースの選出方法の採用を期待する。そしてさらに、これらの機関の職員も加盟国の多様性をより反映すべきである。特に発展途上国からの任命を格段に増やす必要がある。国際社会は、我々のこれらの機関に関する期待に応えるような結果を、合意された期限までに出さなくてはならない。さもなければこれらの機関は衰退することになるだろう。
12. 国際経済の安定性を高めるため、我々は 4 カ国の蔵相と中央銀行総裁に対し地域通貨システムを調査し、この領域における協力の手順について議論することを求めた。貿易と投資を促進するため、我々は、4 カ国の貿易の自国通貨による決済を含む通貨協力のフィージビリティ・スタディーを開始する。
13. 国際金融危機によって金融市場の自己規制に関する信頼が打ち砕かれた。それゆえ、金融市場のすべてのセグメント、機関、商品の規制及び監督に関する協力を発展させ、強化する切迫した必要性が存在する。我々は国内規制を改善するコミットメントを継続するとともに、国際金融規制システムの改革を強く求め、金融安定化理事会 (Financial Stability Board) を含む国際基準設定機関と緊密に協力していく。

#### 国際貿易

14. 我々は、WTO に具体化される多国間通商システムによって国際貿易のオープン、安定的、公正、非差別的な環境を形成することの重要性を強調する。これに関連し、我々は、あらゆる形の保護主義に反対するとともに、貿易に対する偽装された制限と戦うことにコミットし、すべての国にもこれを求める。我々は、ドーハ・ラウンド多国間通商交渉が、交渉手順に関する点も含め、これまで達成された進歩にもとづき、「開発ラウンド」としての負託を完全に満たすように、包括的でバランスの取れた成果を上げることの必要性に賛同する。我々はロシアの WTO 加盟申請に注視し、これを強く支持する。

15. 我々は国連ミレニアム宣言の重要性及びミレニアム開発目標（MDGs）達成の重要性を改めて表明する。我々は、経済金融危機の影響によりミレニアム開発目標を達成するための貧困国の努力が挫折する潜在的可能性を回避することの重要性を強調しなくてはならない。我々はまた、貧困国が開発政策を遂行し、国民に対し社会保障を実施するための技術協力や金融支援を通じ、2015年までにミレニアム開発目標が達成されるよう努力を継続する。2010年9月のミレニアム開発サミットが政治的提言を通じてミレニアム開発目標の達成を促進することを期待する。我々は、持続可能な開発モデルと発展途上国の方向性が完全に尊重され、必要な政治空間が発展途上国に保障されなくてはならないことを強調する。

16. 最貧国は経済金融危機によって最も深刻な影響を受けた。発展途上国、特にミレニアム開発目標に関係する国々への援助に関するコミットメントは完全に遂行されるべきであり、開発援助が削減されることがあってはならない。世界経済の成長のための包括的プロセスとは、連帯の問題だけではなく国際政治経済の安定性のための戦略的重要性の問題でもある。

#### 農業

17. 我々は、モスクワにおける農相及び農地開発相会合において、4カ国の協力のあり方が議論され、特に農家畜産に注意が払われたことに対し満足の意を表明する。我々はこれが世界の食糧生産及び食糧安全保障に貢献することを確信する。我々は BRICs 諸国において共通の農業情報システムを創設し、脆弱な国民の食糧へのアクセスを保障するための戦略を策定し、食糧安全保障に対する気候変動のマイナスの影響を削減し、農業技術協力及びイノベーションを促進することについての農相及び農地開発相会合の決定を歓迎する。

#### 貧困との闘い

18. 我々は国際社会が貧困、社会的疎外、不平等と闘うため、開発途上国、特に低開発国、小島、アフリカ諸国の特別のニーズを考慮しつつ必要なあらゆる努力を行うことを求める。我々は、貧困層、女性、若年層、移民、障害者等の最も脆弱な人々に特別の注意を払いつつ、社会保障、完全雇用、適切な労働政策及びプログラムを通じて持続可能な社会発展を達成するために貢献するための手段としての技術的及び財政的支援を支持する。

#### エネルギー

19. 我々は、エネルギーは国民の生活水準向上に不可欠の資源であり、エネルギーへのアクセスは、公正性及び社会的一体性を伴う経済成長のために最も重要なものであることを認識する。我々は、よりクリーンで、より低価格の持続可能なエネルギーシステムを開発し、あらゆるセクターにおいてエネルギー及びエネルギー効率を高めるための技術と方法へのアクセスを促進する。我々は、適切な場合には、再生可能エネルギーを用いて我々のエネルギー・ミックスを多様化し、よりクリーンかつ効率的な化石燃料及びその他の燃料の利用を促進する。

20. 我々は、新しい環境に優しい技術を用いたエネルギー・ミックスの多様化と雇用創出の潜在力を認識する。この点において、適切な場合には、バイオ燃料の持続可能な開発、生産及び使用を促進する。国家の優先課題に従い、我々は、再生可能エネルギーに関する国際協力と経験の共有を通じてバイオ燃料技術・政策を含む再生可能エネルギーの利用促進を図る。

21. BRICs 加盟国はエネルギー分野における教育、研究開発、コンサルタントサービス、技術移転に関して協力することができることを確信する。

#### 気候変動

22. 我々は、気候変動は国際的な行動を必要とする深刻な脅威であるということに同意する。我々はメキシコにおける第 16 回気候変動枠組条約締約国会議及び京都議定書第 6 回締約国会合が、会議及び議定書の実施の強化のために包括的でバランスの取れた拘束力のある成果を上げることに対しコミットするものである。我々は会議及び議定書が気候変動に関する国際的議論の枠組みを提供することを確信する。メキシコにおける議論が会議の原則、特に公平性と共通だが差異のある責任の原則を反映し、より包括的で透明性があり、気候変動に対処するための包括的で有効な結果をもたらすべきである。

#### テロリズム

23. 我々はいかなる形態のテロ行為も示威活動も非難する。国際テロリズムとの闘いは国連憲章及び現存する国際テロリズムに関する国際条約及び議定書、国連総会及び安全保障理事会の決議を尊重して遂行されるべきであり、テロリスト活動の防止はテロリズムと資金提供の抑止と同じく重要である。この文脈において我々は国連総会における包括的国際テロリズム条約に関する議論の早期決着と、すべての加盟国による採択を求める。

24. ブラジルと中国は最近の野蛮なテロ攻撃の被害を受けたロシアとインドの人々に対し同情と連帯を表明する。

#### 文明の同盟

25. 我々は、文明、文化、宗教、民衆の間の対話促進の重要性を確認する。この点において我々は国連による世界の相互理解を促進する架け橋となるイニシアティブである「文明の同盟」を支持する。我々は、ブラジルが 2010 年 5 月に第 3 回国際フォーラムをリオデジャネイロで開催するという決定を賞賛し、適当なハイレベルの出席者を送ることを確認する。

#### ハイチ

26. 我々は 1 月 12 日の大地震以来悲惨な状況に直面しているハイチ国民に対する我々の連帯を再確認し、ハイチ政府の指導及びハイチ国家再建と開発のためのアクションプランの優先順位に従い国家再建を支援するための国際社会の力結集することへの我々のコミットを再度表明する。

## 協力

27. 我々は、我々の国家間協力の強化を目的とする以下の分野別イニシアティブを歓迎する。

- (a) 第1回農相及び農地開発相会合
- (b) 蔵相・中央銀行総裁会合
- (c) 防衛問題担当ハイレベル会合
- (d) 2009年のBRICs諸国の高等法院間の合意に基づく、2010年5月、ブラジルにおけるBRICs諸国の治安判事及び裁判官の交換プログラム
- (e) 開発銀行の第1回会合
- (f) 国家統計局長官の第1回会合
- (g) 競合政策当局の会議
- (k) 共同組合の第1回会合
- (l) 第1回ビジネスフォーラム
- (m) シンクタンク会議

28. 我々は、以下のような我々の関係強化を求める他の重要な兆候を承認する。

- (a) 国家統計局の共同出版物が本日発刊されること
- (b) BRICsの共同百科事典作成のフィージビリティ・スタディー

29. BRICs諸国の科学、文化、スポーツの領域における協力促進へのコミットメントを再確認する。

30. 我々は、2010年上海万博、ニューデリーにおける2010年コモンウェルス・ゲームズ、カザンにおける2013年世界学生競技会、2014年ソチオリンピック、ブラジルにおける2014年FIFAワールドカップ、リオデジャネイロにおける2016年オリンピック及びパラリンピックの成功に対する自信を表明する。

31. 我々は、自然災害減少のための協力及び支援の強化ための努力を再確認する。ロシアとインドは、リオデジャネイロにおける土石流及び中国青海省における地震の犠牲者に対し、哀悼の意を表す。

## 第3回BRICsサミット

32. ブラジル、ロシア、インドは、中国の2011年に第3回BRICsサミットのホスト国となることの申し出を評価する。

33. ロシア、インド、中国はブラジル政府及び国民に対し、第2回BRICsサミット開催について感謝する。